

令和5年度 町民と議員との懇談会（5月開催） 町民からの意見・提言等集計（取扱区分順）

全地区

【取扱区分】 A：町に対し要望する事項 B：町民に対し説明が必要なものとして伝達する事項
C：議会で取り上げる検討事項 D：会場で説明、回答した事項

- ① 中富地区 5月13日(土)午後7時30分～ 中富地区公民館 西嶋分館 参加者：男性13名、女性 5名、計18名
 ② 下部地区 5月20日(土)午後7時30分～ 働く婦人の家(久那土出張所) 参加者：男性16名、女性 4名、計20名
 ③ 身延地区 5月26日(土)午後7時30分～ 身延地区公民館 豊岡分館 参加者：男性17名、女性 1名、計18名

参加者合計：男性46名、女性10名、計56名

会場・質問順	町民からの意見、提言等	地区	性別	答弁の内容	取扱区分	担当課	町回答
中富5-1	町営住宅への入居条件が多すぎる。所得制限や共働き、持ち家などので入居できない状況だ。若者をはじめ誰でも入居できる住宅を作ってほしい。	西嶋	男	国の政策による所得制限がある。下田原県営住宅の何戸か対象外の物件がある。	A	建設課	町でも中堅所得層の子育て世帯に向けた住宅を整備しました。(八日市場団地内3戸)また、国の法律(公営住宅法)に縛られない町有住宅相又団地もあり、若い方の単身者や所得の制限もなく、入居して頂ける住宅となっております。いづれの住宅も、持ち家などなく住宅に困窮していることとは変わりありません。
中富5-2	宅地造成をし、若者が定住しやすい環境をつくってほしい。	西嶋	男	宅地分譲は、農業振興地域の除外などもあり、横断道開通で安く提供できればいいが、町へ伝える。	A	企画政策課	移住・定住の促進にあたっては、住居を確保することが必要となります。近年の民間投資が進まない状況では、町の施策により進めています。学校等公共施設、商業施設、駅、IC、インフラなどの生活関連施設へのアクセスや造成費用などから検討を進めています。
中富5-4	地震、大雨などの大災害時、避難所の電気、水の確保は重要だ。ソーラーシステムの設置や井戸の確保などして、何日も生活できる避難時にしてほしい。	西嶋	男	避難所へのソーラーパネルや井戸の設置は大事な事なので町と対応を考える。	A	交通防災課	現在、災害時の対応として、指定避難所の規模により備蓄倉庫に発電機や太陽光パネル、飲料水を配備しています。長期の対応は国からのプッシュ型による物資支援を計画しています。
中富6	今回オープンしたしもべのスポーツ温泉施設だが、オープン記念として町民に優待券を配布したらどうか。町民が利用し、良いと思った感想を発していくことが効果的な宣伝になると思う。	静川	男	要望があったことを町へ伝える。	A	生涯学習課	オープン当初より、町民利用価格を設定し、料金について町外者との差別化を図っているため、優待券等の配布は考えておりません。
下部8	しもべの湯に行ったら良かった。利用促進のため一世帯一枚の無料チケットを配布したらどうか。	久那土	女	要望があったことを町へ伝える。※中富6と同様の意見	A	生涯学習課	オープン当初より、町民利用価格を設定し、料金について町外者との差別化を図っているため、無料チケット等の配布は考えておりません。

会場・質問順	町民からの意見、提言等	地区	性別	答弁の内容	取扱区分	担当課	町回答
身延1-3	病院での障がい者窓口対応の件、対応出来ない所が多い。窓口での無料化を取り組んでいるが議会でもバックアップをしてほしい。	豊岡	男	県単位の対応となるので、県への要望が可能か町へ伝える。	A	福祉保健課	重度心身障害者医療費助成が、窓口無料方式から自動還付方式に変更になった背景は、国からのペナルティが年々増え続け、県や市町村の財政に与える影響が大きくなったからです。現在、県では、スマートフォンを活用し、病院等窓口で現金支払いが不要となるモデル事業を行っています。県は市町村に対し、モデル事業の周知や参加者募集等の協力を要請しています。
身延2-1	梅ヶ島と静岡側での交流をしています。両者でトンネルで結ぶ話がでており、静岡側も話が進んでいる。国・県レベルになるが議会の支援をお願いしたい。	豊岡	男	議会でも検討する。町へも伝える。	A	建設課	峡南林務環境事務所に確認しましたが、トンネル建設の話は出ていないとの事でした。
身延3-1	提案です。公民館・分館についてWi-Fiが繋がるようにしてほしい。災害発生時の避難所として連絡が付きにくい。携帯が繋がらないことがある。検討してほしい。	豊岡	男	避難場所の情報を得ることは必要です。提案を進めていきたい。要望があったことを町へ伝える。	A	交通防災課	避難所での情報収集については重要と考えています。Wi-Fiの設置は平時の使用がなく、費用のみかかるため、契約形態などを調査検討しています。
中富5-3	旧久那土小中学校など使われなくなった施設の再利用を考えてほしい。プール、グラウンド、体育館、給食調理場などがあり、宿泊施設や夏合宿所としても使えるのではないかと。それが雇用促進にもつながる。	西嶋	男	旧久那土中学校はホバーバイク関係の業者が使用している。小学校は急傾斜地に位置し、老朽化が進み再利用の予定はない。	B	財政課	旧久那土小学校については、老朽化が進み再利用の予定はなく取り壊す予定となっています。
下部7	小学校の入学人数が少ない。複式学級があるのか。こども増やす努力をしてほしい。	古閑	男	町へ伝え、現状確認を行う。	B	学校教育課	国基準で複式の対象になる学年が身延清積小にありますが、県や町で複式解消の教諭を配置していますので複式学級はありません。少子化の原因として、子育て世代の経済的負担が大きいことも一つの理由となっており、学校関係の支援策として、入学支度金支給、給食費の全額補助、修学旅行費の全額補助、補助教材費の公費負担などにより保護者負担の軽減に取り組んでいます。
下部9	災害時に避難場所がいっぱいで入ることができなかった。どこに避難したらいいのかわからなく困っている。避難できることを教えてほしい。	身延	女	避難場所を町から示しているが、周知等徹底について町へ伝える。	B	交通防災課	避難所を開設する際は防災行政無線で放送し、ホームページで周知しています。また満員等により受け入れが出来なくなった場合はホームページや避難所での表示等で避難可能な避難所を周知します。
下部10	スポーツ健康増進施設はPFI事業で建てられたが、どのくらいの効果(経費削減)があったのか教えてほしい。	久那土	男	町へ伝え、確認する。	B	生涯学習課 施設整備課	スポーツ健康増進施設の建設にPFIを導入した理由は、設計・建設・維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで町の財政負担を軽減し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図ることを目的としています。